



発行者 福山市自治会連合会  
会長 大原 博  
TEL 084 (923) 9633

・80学区(地区・町)・自治会(町内会)数 1,012

・加入世帯数 120,665 【2025年2月現在】

HPはこちらから

検索

福山市自治会連合会



# 2024年度(令和6年度)福山市自治会運営研究大会

## 運営研究大会 会長挨拶から(要旨)

本日は大変お忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。枝広市長、今岡市議会議長、藤井社会福祉協議会会長には、公務ご多用の中ご来賓としてご臨席をいただき、盛大に開催できますことを厚くお礼申し上げます。

今大会は、自治会・町内会活動の推進に、多大なご貢献をされてきた自治会・町内会長や、優秀な業績を挙げられた自治会・町内会を表彰するとともに、これからの自治会活動の在り方について研修するために開催するものであります。表彰は、本年度は24名の皆様と8自治会(町内会)が表彰されることになっております。表彰者の皆様、誠におめでとうございます。本日の表彰を契機とされて、これからも益々のご活躍を期待いたしております。

大きな災害が頻発する昨今、自治会・町内会という地域のつながりが、いざというときの重要な支えになっていることは明確であります。地域全体で取り組んでいる活動の周知や、自治会・町内会の認知度をどう高めるかが、全国的な共通課題になっております。これからの世代に、より良いまちづくりを引き継ぐためにも、更なるご協力をお願いいたします。最後になりましたが、皆様方の今後益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



福山市自治会連合会  
会長 大原 博

### 表彰者の皆様

■令和6年春の叙勲 旭日単光章(披露)  
佐藤 賢一(東)

■令和6年度全国自治会連合会表彰(披露)  
河上 正次(新市)

■地域自治活動功労者に対する感謝状贈呈要領に基づく表彰【市長感謝状】  
小原 一三(網引)・河上 正次(新市)・田口 正造(南)

■福山市自治会連合会表彰規程に基づく表彰【連合会長の部】  
山岡 英樹(泉)・岩岡 一道(大谷)・藤井 政明(桜丘)・檀浦 五朗(田島東部)  
池田 和司(長浜)・田口 正造(南)

■福山市自治会連合会表彰規程に基づく表彰【自治会(町内会)長の部】  
下江 正文(旭)・松本 正志(神辺)・井上 通弘(神辺)・藤井 秀隆(千田)  
高下多美雄(坪生)・山田 泰秀(西)・川上 澄雄(光)・小坂 章則(光)  
今井 宏(東)・池田 正夫(東)・吉川 純弘(東)・泉 成香(広瀬)  
吉岡 栄之(広瀬)・三好 紳司(宜山)・中山伊知郎(宜山)

■福山市自治会連合会あけぼの基金要綱に基づく表彰  
【住みよいまちづくりをすすめる自治会(町内会)を顕彰して行うもの】  
下組町内会(赤坂)・檉隈自治会(山南)・中島東町内会(駅家)・南組町内会(中条)  
宮の端町内会(深津)・延広町町内会(南)・東町内会(春日)・大谷自治会(東村)



<講演>  
福山市危機管理防災課さん



<アトラクション>  
つぼう男シングチームのみなさん



春の叙勲 旭日単光章



全国自治会連合会表彰



地域自治活動功労者に対する感謝状贈呈



連合会長の部



自治会(町内会)長の部



あけぼの基金要綱に基づく表彰

(広告)

# Kakogawa Journal

資源をつなぐ。地域とはぐくむ。

令和7年上半期号 かこ川商店 神辺町川南636-1

## ゴミステーション設置を全面サポート

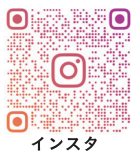
環境保全の重要性が高まる中、かこ川商店ではゴミステーションを活用した資源回収を積極的にサポートしています。福山市を中心に、古いゴミステーションの撤去・処分から、町内会さんが購入された新しいゴミステーションの設置まで一貫対応します。



Before



After



インスタ

設置作業の様子は **インスタ** と **ブログ** で公開中です。見てね!



ブログ

## ゴミステーション交換作業の流れ

① 新しいゴミステーションの搬送  
依頼主様がご注文された新しいゴミステーションをトラックで受け取り、設置場所まで移動



② 古いゴミステーションの撤去  
クレーンで古いゴミステーションをトラックに積み込みます。回収後は責任を持って処分します。



③ 新しいゴミステーションの設置  
アジャスターで調整し水平になるよう設置します。



## お困りごとはかこ川商店へ!

お問い合わせは**公式LINE**まで。  
自治会の資源回収に関するご相談、  
お見積り依頼もお待ちしております。





### 市政懇談会

今年度も2回の市政懇談会を開催しました。1回目は6月に本庁・東部市民センター・西部市民センター・北部市民センターの4会場で行い、市長・教育長の重点施策の報告を受けました。2回目は1月に福山市市民参画センターにおいて開催しました。2回目の市政懇談会では、今年度の要望35件のうち、紙面回答以外に再度行政に話を聞きたいという10学区(地区・町)が市の担当部署と直接意見を交わしました。地元の思いを詳しく伝えることができ、有意義な協議となりました。



### 理事会

1月23日(木)広島県労働会館みやびにおいて理事会を開催しました。委任状を含む80名の理事(連合会長)が参加し、提出した議題は全て承認されました。

その後、理事研修会として「今をどう生きるか 高齢者の人権」と題し、照専寺前住職 佐々木至成様にご講演をいただきました。講演は笑いが絶えず大変好評で、これからの生き方・過ごし方を改めて考えるよい機会となりました。



### 全国自治会連合会福井県福井大会

11月13日(水)福井市で開催され、叙勲受章者の披露及び、全国自治会連合会表彰授与が行われました。活動発表では、「福井県における自治会支援の取組」として、福井県知事が発表され、県の支援によりCM動画「町内会に入ろ♪」を放映し、加入を促進している等のお話がありました。

(大会参加者 1,012名)

### 加入促進月間の取組

8月から10月にかけて加入促進月間の取組を行いました。今年度は全体の465世帯の増加に対して、383世帯の減少があり、結果的には82世帯の増加になっています。学区(地区・町)役員の皆様のご協力、ありがとうございました。アンケートの集約は、追ってご報告します。

### 中四国ブロック会研修会高知市大会 (視察研修兼ねる)

2月6日(木)高知市で開催され、全国自治会連合会加入の中四国ブロック6県が集いました。事例発表では、「自治会活動でのデジタル活用(山口県)」と、「めざせハッピータウン! 加入率100%(高知市)」の2つの発表がありました。

(研修会参加者 199名)

### 広報委員

部会長	藤井 俊昭(蔵王)	委員	森 武(今津)
副部会長	安倍 義弘(中条)	//	藤井 政明(桜丘)
副部会長	出原 敬三(駅家)	//	花谷 忠厚(光)
幹事	大島 功之(赤坂)	//	天満 晴夫(伊勢丘)
		//	中尾 憲二(横島)

★今号より、皆様へのお届け方法を回覧にさせていただきます。冊子が必要な方は、最寄りの交流館窓口か、福山市自治会連合会事務局までお立ち寄りください。また、ホームページには過去の会報も含め掲載していますので、ご活用ください。

(広告)

## ワンタッチテントの販売・レンタル・出張修理 はおまかせください

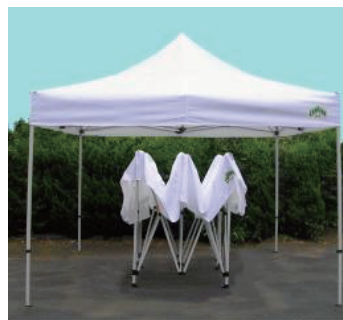
運動会

お祭り

イベント

**簡単設置! 簡単撤収!**  
**大人2~3人でOK!**

フレーム1年間保証。アフターサービスも充実。



TEL: 084-982-7261

FAX: 084-982-7262

メール:

[one\\_touch\\_tent@yahoo.co.jp](mailto:one_touch_tent@yahoo.co.jp)

福山市箕島町南丘 6534-1

ワンタッチテント福山

お気軽にお問い合わせください。



深津学区町内会連合会  
会長 岸本 彰五

## 「深津学区（ふかつ）の紹介」

深津学区は、福山城主水野勝成公によって王子山沖から手城の梶島山まで一直線の潮止め堤防（干間土手）建設による干拓でできた町です。普請は難航を極め、堤防が何度も決壊し工事は中断しますが、塩崎神社の大明神に安全祈願してようやく干拓が成功したと言われていています。水野勝成公を祀る聡敏神社が福山八幡宮から分社されています。明治時代初期に福山城内にあった大名行列の装備一式が深津村に払い下げられ、戦前から大名行列が再現されており、現在も秋祭りや福山城400年記念行事等に招へいされ行列の舞を披露しています。現在、深津学区には約7,500名の町民が生活しています。1月のとんど祭り、高齢者対象の七夕まつり、夏祭りまた秋には体育祭、秋祭り、まちづくり推進大会、ふれあい祭り、敬老会、防災訓練、また冬には高齢者対象のクリスマス会の他まちづくり委員会傘下の各団体によるスポーツ大会や催しが目白押しで開催さ



秋祭りで新幹線道路脇を巡行する深津大名行列

れます。深津交流館は、学区民が集まる中心の場所として機能を果たしていますが、昨年9月に新たに竣工し、益々交流の場所として多くの町民が利用しています。学区内には小学校とこども園がありますが、相互交流も盛んで運動会や敬老会、秋祭り等では子供たちが歌や踊りや和太鼓等披露して、住民との触れ合いを深めています。昔たんぼだった場所にマンションが建ち、従来からの住民との間に隙間も生まれがちですが、学区民全員でふるさとを楽しい街にしていきたいものです。

赤坂学区自治会連合会  
会長 大島 功之

## 「人にやさしいまちづくり」

赤坂町は、1889年（明治22年）に赤坂村と早戸村が合併して一村になったもので、元の村名は大宇として残っています。

交通の窓口は、JR山陽本線「備後赤坂駅」で、福山市立中高等学校の生徒が登下校で利用し、活気を見せています。

ただ、学区の高齢化率が32.3%（2024年11月末現在）と、じわりと進行しており、高齢者等のちょっとした困りごとのお手伝いをしたいという思いから、2023年（令和5年）、生活支援事業を立ちあげました。名称は「生活支援グループAKASAKA」です。会員数は現在42名で、依頼内容は、庭の草刈りや木の剪定などが多いようですが、耕作放棄地の草刈りなどへは対応していません。

現在、福山道路建設工事により、豊かな農村風景は一変し、通勤や通学に危険を感じることも多々あ



生活支援グループが生垣剪定活動中

ります。コロナ禍以降、従来のような大がかりな事業はできにくくなりましたが、これからも住民の福祉の向上と安心・安全で、人にやさしいまちづくりに鋭意取り組んでまいります。

※次回の掲載は、霞学区と田島東部地区です。